

## 埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略について

## 1 背景

- ・ 我が国の人口減少は平成 20 年（2008 年）に始まっており、今後加速度的に進むと推計されている。人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。
- ・ 将来にわたって活力ある日本社会を維持するためには、人口減少克服と地方創生を併せて行うことが必要。

## 2 趣旨

- ・ 人口減少に歯止めをかけ、地域の活力創出を目指す「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、本県における地方創生の目標や施策の基本方向を定めたもの。
- ・ 今後 50 年（2060 年）を見据えた人口ビジョンと一体的に策定し、平成 27～31 年度（2015～2019 年度）の 5 年間に推進すべき取組を体系的に示している。

## 3 策定の流れ

平成 26 年 11 月	「まち・ひと・しごと創生法」施行（国）
平成 26 年 12 月	「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定（国）
平成 27 年 4 月	「埼玉県まち・ひと・しごと創生有識者会議」設置
5～9 月	埼玉県まち・ひと・しごと創生有識者会議にて審議（3 回）
10 月	県民コメント実施
12 月	県議会に議案提出 第 157 議案 「埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」
平成 28 年 3 月	県議会において議案可決（修正可決）

## 4 計画期間

平成 27～31 年度（2015～2019 年度） ⇒ 第 2 期戦略を今年度中に策定する

## 5 構成

本県の4つの基本的課題に対応した4つの基本目標を定め、各基本目標に対しては基本指標及び重要業績評価指標（KPI）を設定。

**基本的課題** ①生産年齢人口の減少への対応 ②社会増の適切な維持  
③自然減・少子化への対応 ④異次元の高齢化への対応

### 基本目標1 県内における安定した雇用を創出する

～生産年齢人口減少期における経済活性化～

県内に魅力的な雇用の場をつくとともに、働く意欲を持つ女性、高齢者等の活躍を支援する。

[基本指標] 就業率

女性就業率（30～39歳）の向上

経営革新支援等による付加価値創出額

### 基本目標2 県内への新しいひとの流れをつくる

～東京都区部への一極集中の克服～

子育て世代や高齢者など幅広い世代をターゲットに、本県の情報や魅力を発信し移住を進め、人の流れをつくる。

[基本指標] 人口の社会増の維持

0～14歳の転入超過数の維持

### 基本目標3 県民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

～少子社会からの転換～

結婚や出産を望む人たちが安心して子供を産み育てられる環境を整備することで、希望を実現できるようきめ細かな支援を推進する。

[基本指標] 合計特殊出生率の向上

### 基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

～異次元の高齢化への挑戦～

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう健康づくりや介護施策・地域連携等を推進する。

[基本指標] 健康寿命（男性、女性）

要介護・要支援認定率（75～79歳）

## 6 目標達成に向けた主要な取組

### 基本目標 1 県内における安定した雇用を創出する

#### 埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの推進

女性が夢を持っていきいきと活躍できるよう、埼玉版ウーマノミクスプロジェクトを推進している。女性の就業・起業の支援、仕事と家庭の両立ができる環境づくりにより、子育て世代の女性の就業率向上を目指している。

＜働きやすい環境の整備＞

- ◆「多様な働き方実践企業」の認定
- ◆女性活躍のための働き方改革の推進
- ◆企業内保育所の整備促進

＜女性の就業・起業支援＞

- ◆女性キャリアセンターによる就業支援
- ◆女性創業支援チームによる起業支援

＜女性の活躍を応援する気運づくり＞

- ◆企業と連携した女性の活躍応援 ～輝く女性応援団～
- ◆「ウーマノミクスサイト」による情報発信



#### 徹底した企業誘致の推進

「東日本一の充実した交通網」、「多彩な企業や研究機関が集積」、「巨大な市場と豊富な人材」といった埼玉の強みをアピールし、『埼玉ならではの』の企業誘致を展開している。

#### [主な立地企業]



## 基本目標2 県内への新しいひとの流れをつくる

### 移住の促進に向けた支援

自然豊かで都市にも近い埼玉への移住を促進するため、相談窓口の設置や移住PR動画作成、市町村への支援などを行っている。

- ◆「住むなら埼玉」移住サポートセンターを開設（東京都有楽町）
- ◆移住PR『「埼玉物語」～移住で深まる家族の絆～』動画放映（首都圏電車内モニター、YouTube）及びポスター掲示
- ◆ふるさと創造資金による市町村の財政支援



### 観光の振興

本県への宿泊観光客を増やすため、川越や秩父などを周遊する「SAITAMAプラチナルート」をPRし、訪日外国人をはじめ観光客の増加を目指している。

また、県の魅力を生かした体験型コンテンツの発掘や商品化、台湾・タイ・香港等の現地旅行会社への本県観光PRなどをおこなっている。

### 「SAITAMAプラチナルート」

県を代表する観光地の川越、秩父、長瀨を巡る観光ルート



## 基本目標3 県民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### 結婚・出産・子育てへの支援

現在子育てをしている世代だけでなく、これから結婚や出産を考える世代も含め、結婚から子育てまで切れ目ない支援を行っている。

#### <結婚・出産への支援>

- ◆SAITAMA 出会いサポートセンター「恋たま」の開設  
結婚支援システムと相談員によるサポートにより、  
出会いから結婚までを支援
- ◆妊娠・出産・不妊に関する知識・情報の提供や相談対応
- ◆不妊治療への助成
- ◆周産期医療の充実
- ◆子育て世代包括支援センターの整備促進



#### <子育て支援>

- ◆保育所等の整備促進
- ◆保育士の確保・定着
- ◆「子育て応援マンション認定制度」や「子育て応援分譲住宅制度」による子育てしやすい住宅の普及促進
- ◆多子世帯に対する経済的支援  
多子世帯への保育料軽減や「多子世帯応援クーポン」配布、多子世帯向け住宅取得補助
- ◆子育て応援のムーブメント醸成  
子育て世帯が商品の割引や特典を受けられる「パパ・ママ応援ショップ」協賛店や誰でも自由におむつ替えや授乳ができるスペース「赤ちゃんの駅」の拡大



## 基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

### 健康長寿埼玉プロジェクトの推進

毎日1万歩運動や筋力アップトレーニングなど健康維持に効果のある取組を「健康長寿埼玉モデル」として広めている。

また、働き手世代からの健康づくりを推進するために「埼玉県コバトン健康マイレージ」及び「埼玉県健康経営認定制度」を実施している。「埼玉県コバトン健康マイレージ」は、ウォーキングや特定健診の受診などでポイントが貯まり、楽しみながら健康づくりができる埼玉県独自の取組。

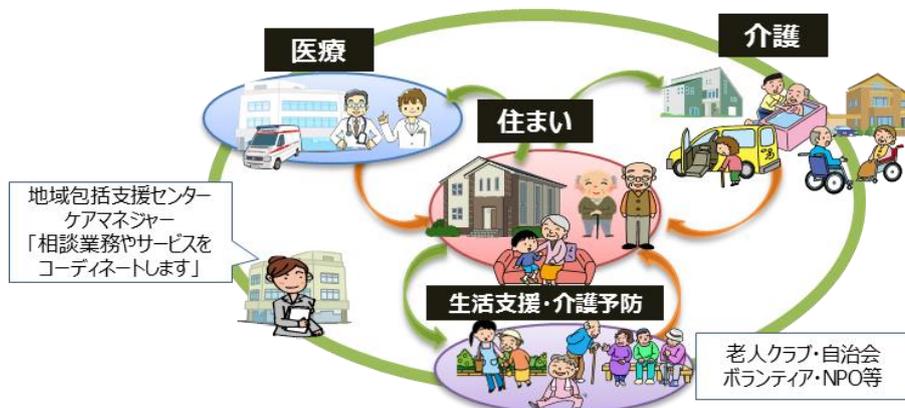
- ◆健康長寿埼玉モデルの普及・拡大
- ◆埼玉県コバトン健康マイレージの普及・拡大
- ◆健康長寿サポーターの養成拡大



### 地域包括ケアシステムの構築促進

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を進めている。

#### [地域包括ケアシステムの全体像]



#### 地域包括ケア総合支援チームの派遣

それぞれの地域に合った地域包括ケアシステムを構築するため、理学療法士などの専門職で構成する支援チームを市町村に派遣。